



Since 1997

# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 14 | Issue 3 | December 2010

## ➡ In this issue...

- ▶ KISTival 2010...p. 2, 3
- ▶ Early Years News...p. 4
- ▶ Elementary School News...p. 5
- ▶ Read-a-thon 2011...p. 7
- ▶ Grade 5 Camp...p. 9
- ▶ Middle School Drama Festival...p. 11
- ▶ Calendar for 2011-2012...p. 13
- ▶ Grade 6 Nikko Camp...p. 14
- ▶ Cross Country Fever...p. 15
- ▶ Save the Words...p. 16
- ▶ Hana's Suitcase...p. 17
- ▶ Memories of KISTival...p. 18

“未来を作るのは、夢以外の何物でもない”

—ヴィクトル・ユーゴー—

## 学校長より.....

皆さん、こんにちは。今月はとても忙しい月で、もう12月になってしまったなんて信じられません。まず、SWOT分析の会議に参加して下さい保護者の方々に御礼を申し上げます。皆さんのご意見、お考え、ご提案は理事会が本校の長期的な発展計画を立てる上で貴重な情報となります。また、KISTの教育理念に関するワークショップに参加して下さいの方々にも御礼を申し上げます。教育理念を考える上で、本校に在学するすべての国籍、文化、学年を代表する方々が参加する事はとても大切な事です。

本校では、学校の方向性を上げるために、保護者が参加できる教育理念の最終ワークショップを二つ計画いたしました。このワークショップの目的は、本校のビジョンや使命、目標を、生徒が21世紀という時代に生活し働いていく中で、何が必要であるかという事に基づいて再考する事です。これまでのワークショップに参加されていない方々は、ぜひ以下の日程に参加していただければと思います。

- 12月14日(火) 午前9時(日本語) 多目的室にて
- 12月14日(火) 午前11時(英語) 多目的室にて

冬休み明けに、SWOT分析の結果と本校の再考した教育理念の草稿をお渡しします。これらの事は、今後2つの外部の機関から、代表者訪問を受ける事への準備です。1回目の訪問は2月にIB機構によって行われる再認定の訪問です。この訪問は本校の3つのカリキュラム(PYP、MYP、DP)を評価するものです。2回目の訪問は、4月に行われるもので、WASC (Western Association of College and Schools) による予備訪問です。この訪問から、KISTが認定された学校になるためのプロセスが始まります。認定校になる事で以下のようなメリットがあります。

- 本校の規範の正しさを証明できる
- 高い基準と質を保証できる
- 生徒の学びと幸せに焦点を当てることができる
- 他の学校への転校可能にする
- 大学入学への道を整える
- 取り組んでいる学校の発展に関する事を助長する
- 国際的な「承認された証」を提供する

Continued next page

## DATES TO REMEMBER



**December 8:**  
(ECE/E) Class parent representatives meeting (2:00) [see page 5]  
(S) Coffee with Mr Schneider (6:00) [see page 10]

**December 10:**  
Parent steering committee (9:30) [see page 2]

**December 14:**  
KIST philosophy workshops  
(Japanese 9:00 / English 11:00)

**December 15:**  
(G10) IB DP 2011-2013 information evening

**December 17:**  
No clubs on this day  
2011 enrolment applications close  
(S) The English Event (2:30) [see page 11]

**December 18 – January 9:**  
Winter vacation

**December 20 – 21:**  
Office open

**January 5:**  
Office open from this date

**January 10:**  
Students return to school

**January 17:**  
Clubs resume from this week

Continued from previous page

今週のビッグニュースは、11月30日(火)に行われたKISTのペアレント・ティーチャー機構を活気付けるミーティングが大盛況に終わったことです。50人以上の保護者、先生、運営者が熱意を持って集まり、将来、作ることのできる委員会や行事、活動の計画などについての提案や意見を出し合い、新しいメンバーでの良いスタートを切りました。参加者は、この新しい組織の名前についても意見を出し合いました。20名ほどの保護者が、この組織を軌道に乗せるために、“Parent Steering Committee”への参加意思を示してくださいました。この委員会にて、組織の規則や、委員会の構成、役員の選出方法を決定します。

第一回の“Parent Steering Committee”は、12月10日

“Parent Steering Committee”

12月10日(金)  
午前 9 時30分

金曜日に行われます。この委員会へ参加するとリストに加わった方、また興味のある保護者の方はぜひお越しください。

保護者会についての詳しい情報はまた改めて近々ご連絡いたします。皆様には、様々な場面で協力していただく機会があると思います。生徒たちの、そしてお子様の学習や幸せのためにご協力いただき、ありがとうございます。

敬具

Nanci Shaw, Ph. D.  
Head of School



>>>KISTival  
2010にてステージで演奏するMr Carlo

来るのを楽しみにしている。また、会おう。念のため言うておくが、もし、宇宙人の恰好をしている人がいたなら、むやみにアンテナを引っ張ったりしてはいけないよ。本物かもしれないからね。

フレンドリーな宇宙人先生  
Phillip Carlo  
Elementary Language Support  
Teacher

## KISTival 2010地球の外へ！

星歴2010年10月23日：我らの宇宙船は、偉大なる人間たちの住む地球という星にある東京の上空をさまよっていた。我が宇宙船のコンピューターセンサーは、江東区清澄にある素敵な学校、KISTから高いレベルのハッピーエナジーが発せられている事を示していた。どうやら、地球人たちは、愛すべき人々や友人たちと、素晴らしい1日を過ごし、自分たちの多様性と、命の喜びを祝っているようだ。

なんて楽しそうなのだろう！沢山のお行儀の良い女の子や男の子がお手伝いをしながら、最高の時間を過ごしている。この行事のために選ばれた会場の立派な校庭はとても混んでいて、その日、東京で一番人口密度の高い場所だっただろう。

我々は、人間は皆同じものだと思いついてきたが、どうやら間違っていたらしい！人間の男がドミノになれるなんて！少年がトランスフォーマーになれるなんて！地球には沢山の魔女がいて、小さなお姫様もたくさんKISTにはいるらしい。この多様性は、西洋に古くからあるハロウィンというお祭りを通して祝われていたようだ。

おっと！あの人間たちは料理だって上手じゃないか！我々は、あの小さな惑星の隅々までを代表する、思わずよだれが出てしまうようなごちそ

うを目にした。日本の繊細な和食から、スパイシーなトルコアイスまで、料理の種類は色々だった。お祭りにいた人々は、ごちそを家族や友達、カエルさんと一緒に楽しんでいた。(お祭りではカエルがケロケロ言っていたらどう?)

人間がやる出し物は、もちろん楽しい1日に花を添えていた。出し物には、歌手やダンサー、ピアニスト、ロックバンドなどの発表があった。我々、宇宙人は、緊張に負けずステージに立った一番小さな(そして一番可愛い)、K2の男の子に敬意を表したいと思う。彼は上手に、そして怖がらずにステージで先生でありお父さんである方と一緒にギターを弾いて歌っていたね。

この日、KISTでは人間の持っている喜びと幸せが最大に発揮されていたように思う。だから、我々は来年のこの日、銀河系のこの場所に戻って



# KISTival 2010



皆さまKISTivalは楽しみ頂けましたでしょうか？ 今年はお天気にも恵まれ、素晴らしい1日となりました。人工芝化後初めての一般開放のイベントでしたが、当初心配されていた人工芝上での飲食についても大きな問題もなく、逆に人工芝の上に腰をおろして休めることでビジターの皆さんの滞在時間が延び、入場者数は例年程度(約5000人)でしたが、売上は全ブースとも前年を大きく上回る結果となりました。バザーに至っては過去最高額を大幅に更新しました。

KISTival実行委員の皆さまおよびクラスペアレンツの皆さまには、短い準備時間にもかかわらず効率よく組織

的に活動して頂き、スムーズにブースを運営して頂けましたこと、心から感謝いたします。また、他保護者の皆さまにおかれましても、様々な寄付や物品の提供、ブース運営など、フェスティバルの趣旨をご理解頂きご協力頂きありがとうございました。今年初めてKISTでのフェスティバルを経験したNanci校長も、保護者の皆さまの素晴らしい実行力と協力性に大変驚くとともに感激されていました。

今回の利益5,884,575円は(詳細は別表参照)、IT環境向上のための設備購入に使わせて頂きます。具体的

な用途につきましては後日改めて報告いたします。

来年度以降KISTivalをより良くしていくための、ご意見、ご提案、ご感想などを下記へメールをお願いいたします。お寄せ頂きました件については次回のCometで紹介させていただきます。

**Sayoko Naito**  
KISTival 2010 Executive Committee

総収入	¥8,258,876
総経費	¥2,374,301
<b>総利益</b>	<b>¥5,884,575</b>

各ブース売上			売上Total
Parents booth	K1	Dipping Bouncing Ball, Dipping Water Balloon, Lucky dip	¥209,613
	K2	Beer/ Wine/ Soft drinks	¥475,601
	K3	Japanese food	¥243,831
	G1	Face painting, Henna painting, Nail art	¥161,250
	G2	Indian food	¥249,750
	G3	Mexican food	¥317,597
	G4/5	Bazaar	¥777,370
	G7	Korean food	¥261,682
	G8	Thai food	¥176,625
	G9	Hawaiian food, Shaved ice	¥393,500
Students booth	G10	Cakes and Drinks	¥201,050
	G7A	Game: Quiz	¥3,750
	G7B	Game: Boogie/Beauty room	¥8,125
	G8A	Game: Sponge throwing game	¥34,260
	G8B	Game: Hit the teacher game	¥13,625
	G9A	Game: Find the missing person game	¥13,875
Parents & Students booth	G9B	Game: Bean bag throwing game	¥56,500
	G6A&B	Air slider, Fishing, Strike out	¥457,351
Staff booth	Staff	Cloakroom	¥1,875
	Staff	Crepes, Ice-cream	¥123,150

Habitat for Humanity

G11	Tapioca drinks, Sweets, T-shirts sale, Monarchy contest	¥105,563
G11 Parents	Hamburger, Yakitori	¥212,125
G10A&B	Haunted House	¥205,911

- ・総収入にはチケット売上・入場料・寄付金・協賛広告代・ペンツ広告ブース代が含まれます。
- ・総経費にはFood・Game booth経費, チケット・広告印刷代, テント他レンタル代, ゴミ処理代, Raffle景品購入代, Stage経費, スクールデコレーション経費が含まれます。



## 幼児教育ニュース

毎朝、皆さんが学校お子さんと一緒に登校される際、廊下を歩き回ったり、ドアからのぞいてみたりしながら、子ども達が遊んでいるのを見て「何をしているかな？」と想像していらっしやることでしょう。一人で遊ぶ子、隣り合って遊ぶ子、おしゃべりをする子、指を指す子、指図をする子…すべてに目的がある事、ご存知でしたか？



いったい何をしているのか、以下の表をご覧ください。

子どもの行動:	学んでいること:
ブロックをトラックに入れて、どさっと落とす	大きさ、重さ、数の概念を理解する
おめかした服を着る	細かい筋肉の使い方(セルフヘルプ・ライティング)
片づけの時間にコップやお皿を分ける	分類すること(数学)
パズルを終わらせる	課題を終わらせる事(学習の習慣/自尊心/数学)
同じ写真を分ける	合わせて、分類すること(数学)
粘土を使う事	素材がどう変わるか認識すること(理科)
プロジェクトのために紙、ハサミ、のりを集める	計画して、課題を実行にうつす(勉強の習慣/方法/自立)
人を描く	何かを表すためにシンボルを使う (リーディング、ライティングへの準備)
友達と一緒に遊ぶ	他者と仲良くする(社会的、情緒的な能力)
こぼさずに注ぐ	細かい筋肉の使い方(身体の調整/自立)
本のページを最初から終わりまでめくる	本を左から右に読む(リーディング、ライティングへの準備)
紙に落書きをする	ライティングをコミュニケーションの方法として使う (リーディング、ライティング)
話を聞いて、起きた事を話し合う	本を楽しみ、細部を記憶し、アイデアを表現する (言語の発達)
他の子供や先生と歌ったり、手遊びをする	集団の中で社会性を発揮し、協力する
材料を計量スプーンや計量カップで加えるようなレシピに従う	計量の方法を学ぶ(数学)
パソコンのマウスを使ったり、ディスクを入れたり、起動させたり、消したりする	運動神経を調整する力を向上させたり、自立させる (体力的、情緒的な成長)
屋外の遊具に上る	体を使い、課題に挑戦する (自尊心/総合的な運動能力)

Erin Hoover  
ECE Coordinator



## エレメンタリースクールニュース

### エレメンタリーSRC

昨年の終わりにG4のクラスはエレメンタリースクールの生徒会の役員を選びました。役員は会長のRitsuki(G5A)、副会長のKei(G5A)、書記のAsuka(G5A)、会計のHikaru(G5A)で構成されています。毎週月曜日の休み時間集まってミーティングを行っています。

役員最初の課題は、クラスの代表者を選ぶために年度の初めに選挙を行う事でした。クラス代表の皆さんは、Shridhar (G3A)、GaOn(G3B)、Sara(G3B)、Julian (G4A)、Krisha (G4B)、Ibuki(G5A)、Riko (G5A)です。当選おめでとうございます。

ESRCは、12月1日水曜日にフリードレスデイを行いました。フリードレスデイの収益は、様々な募金や、ESRCが決めた事に使用されます。

ESRCに対して何か提案や意見がある生徒は、クラス代表に伝えるか、西校舎のロビーにある箱に意見を書いて入れてください。理事会やスタッフ、保護者が学校の長所と、補強すべき点を明らかにすべくSWOT分析を終えたので、ESRCも、エレメンタリーの生徒から意見を集めたいと考えています。

ESRCは、生徒自身の声や行動を通して本校を向上させていくプロセスに生徒が参加していく素晴らしい機会となっています。

### エレメンタリークラスペアレンツ代表者ミーティング

最初のエレメンタリークラスペアレンツ代表者会議が11月9日に行われました。顔合わせを行った後、SWOT分析を行いました。SWOT分析とは、本校の長所と改善点に関する意見を集める方法です。保護者の方々は、アドミニと理事会によって分析され共有されるアイデアを話し合いました。また、クラスペアレンツの役割がどのようであるべきかのブレインストーミングを行いました。

次のミーティングは、12月8日(水)の午後2時～3時に、受付の向かい側にある多目的室で行います。クラスペアレントの代表者、またはクラスペアレントになる事に興味がある方などどなたでも参加していただけます。このミーティングでは、クラスペアレンツがどのようにすればもっと関わりが深くなるか、クラスの親睦を深めるアイデア、また自分たちがどのようにすれば助けになる事ができるかなどについて話し合います。K1とK2の生徒を対象とした託児も設けます。ぜひ、当日お会いしましょう。

### エレメンタリー集会

隔週の月曜日の朝、体育館で行われるエレメンタリー集会に沢山の保護者の皆様に参加されている事を喜ばしく思います。この集会では、生徒が教室で学んでいることを発表したり、KISTの外で行っている興味のある事について発表をします。また、この集会は、学校のより大きなコミュニティを関わる時間でもあります。



エレメンタリーSRC役員



エレメンタリーSRCクラス代表者

本校の集会には様々な種類があります。最近の小グループ発表の例は、G5がノーススターへ行ったキャンプについてパワーポイント発表した事や、小劇、セカンダリーの生徒による太鼓の演奏が挙げられます。また、個人発表の例としては、ピアノ演奏、空手がありました。個人発表を行いたい生徒がいた場合には、Ms Erinに相談してください。



#### “クラスペアレンツ代表者会議#2”

日付: 12月8日(水) | 時間: 2:00-3:00

場所: 多目的室

Continued from previous page

最近の最も楽しかった行事は、体育の先生であるMr Ralphによって企画され、G3の生徒によって発表されたWaka Wakaダンスです。聴衆は、ダンスの目的について、何万人もの子どもたちが教育を受ける事ができないのだという事を意識する事にあるという紹介を受けました。そして「1-Goal Education for All」というキャンペーンについて聞きました。このキャンペーンの課題は、子ども達がみんなでこのダンスを披露しているビデオを送るというものでした。詳細は [www.join1goal.org](http://www.join1goal.org) をご覧ください。これからの集会の予定、またその他の予定について知りたい方は、クラスのウェブサイトにアクセスしてください。

**Greg Brunton**  
Elementary School Principal



## G1のコミュニティ...

どのようなコミュニティに暮らしたいですか。G1の生徒は、そこに住む人々のニーズに応えるためにコミュニティにはどのようなサービスが存在するかという事を探究しています。もし、どこか新しいコミュニティに住む場所として選べるとしたらどうしますか？どのようにデザインしますか？G1Aは、11月15日に小さな展覧会を行い、他の生徒や保護者を招き、新しいコミュニティについて教え、自分たちの作ったコミュニティが1番良いと説得するという活動を行いました。



## ICT@PYP



今月初めにG2, 3, 4にデジタルプロジェクターが常設されるようになり、移動可能なプロジェクターを使える機会が増えたため、教室のプログラムにおいてパソコンや視覚教材が使用される事が格段と増えました。

プロジェクターの使用によって先生はICTを使用できるようになり、クラスにオンラインの資料を見せる事ができるようになり、クラスにおける指導を向上させ、より刺激のある探究の単元を実現できるようになりました。先生は、ビデオやデジタル画像、ショートムービー、DVD、オンラインの本、パワーポイントのプレゼンテーション、Mathleticsをはじめとするオンラインの教材などを使用し、またあるクラスでは、スナックやランチの時間に料理番組を流して子どもたちに健康的な食生活を勧める、なんていう賢い使い方をしているようです。

先生方の中で人気が高まっているウェブサイトは、Animoto ([www.animoto.com](http://www.animoto.com))です。Animotoは、オンラインのプログラムで自動的に自分の撮った写真やビデオを美しく編集された、ユニークなビデオにしてくれます(これは、デジタルプロジェクターでとても綺麗に見る事ができます)。Animotoは早い上に無料で、エレメンタリーの生徒やパソコンの初心者も非常に簡単に使う事ができます。ご自分で見ていただくためには、以下のリンクをご参照ください。

<http://animoto.com/showcase>  
[http://animoto.com/education/case\\_studies](http://animoto.com/education/case_studies)

Animotoで編集した作品や、フィードバックを気軽に [e\\_dumenden@kist.ed.jp](mailto:e_dumenden@kist.ed.jp) に送っていただければと思います。皆様からの感想をお待ちしています。

**Erwin Dumenden**  
Elementary Technology Integration Coordinator

## KISTリーダソン2011

2月14日から、KISTにおいて初めてリーダソンが始まります。

リーダソンとは何でしょう。リーダソンはリーディングのマラソンの事です！30日間(2011年2月14日から3月14日)をかけて、K1からG5の生徒は自分が読めるだけ沢山の本を読みます。子どもは一人ひとり、自分の達成したい目標を決めます。例えば、「30日で100冊を読む」などです。

K1からK3の生徒だけは、先生や保護者に読んでもらった本もカウントに入られます。参加する生徒は皆、リーダソンの初めにしおりを受け取ります。

KISTのリーダソンの目的は、各クラスに新しい本を購入する事と、Room-to-readという組織への寄付金を募る事です。生徒は、家族や友達、地域の人々からスポンサーをしてもらいます。スポンサーをする人は、1冊いくらで募金(1冊100円)しても良いですし、一律(3000円)で募金していただいても構いません。

読んだ本と、募金はすべてフォームに記入し、リーダソンの終わりにクラスの先生にお金を一緒に提出してください。

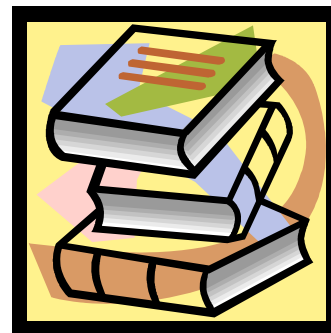
なぜリーダソンをして、なぜ募金をするのでしょうか。

リーダソンの目的は、子どもが楽しく読めるようにすること、読む練習をする事により、読書の壁を乗り越え、読書の時間を増やすことです。また、保護者が子どもに読み聞かせを行ったり、生徒がお互いに読み合う事も奨励します。

学校としましては、Room-to-readに募金をする事により、生徒が世界中の子どもたちのために何かできるという事を感じる機会を与えたいと考えています。また、クラスに置く新しい本を購入する事により、生徒は直接自分の努力から利益を得る事ができます。

詳しい情報は、冬休みの後に、クラス担任からご連絡差し上げます。

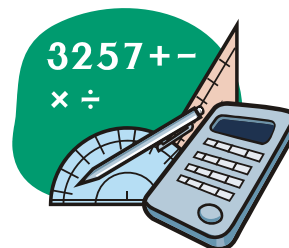
**Diana Hudson**  
Elementary Literacy Coordinator



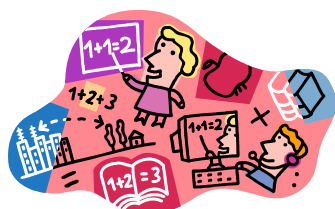
<http://www.roomtoread.jp>  
<http://www.roomtoread.org/Page.aspx?pid=209>

## エレメンタリーの算数について

今月は、幸運にもMathleticsから追加の統計結果を受け取りました。Mathletics.comは、現在ウェブサイトでは見る事のできないデータを送ってくれました。以下にありますのが、当校の生徒が受賞したMathleticsの賞と、過去2か月間のいくつかの情報です。



各学年の正答数		
学年	Live Maths	Curriculum
Grade 1	57,452	32,369
Grade 2	48,300	12,146
Grade 3	126,870	11,045
Grade 4	19,535	7,978
Grade 5	130,059	15,177



各学年の正答数		
1st	2nd	3rd
<b>Grade 1</b>		
Kaiser (G1A)	Minn Thant (G1A)	Hugo (G1A)
<b>Grade 2</b>		
Aoi (G2A)	Samuel (G2A)	Oiso (G2A)
<b>Grade 3</b>		
Zijun (G3A)	Toshinaga (G3A)	GaOn (G3B)
<b>Grade 4</b>		
Vlad (G4A)	Yuhki (G4A)	Igor (G4A)
<b>Grade 5</b>		
Su Hyun (G5B)	Hikaru (G5A)	Vaishali (G5B)

## エレメンタリー理科



### 理科の技術：測量

理科において、正確に測量をするために、沢山の異なる器具を使います。私たちは他者が同じように測量できるように、使用した器具を記録しておかなくてはなりません。

- 測量には、スタンダード(cm, kg, m, litre)なもの、ノンスタンダードなものがあります。
- 家の周りにある様々なものの重さや高さを図ってみましょう。どんな道具が使えるでしょう。



### 驚きの科学の事実 #3:

重力が低いせいで、地球で100キロの人は、火星では38キロである。

**Susan Lee**  
Elementary Science Coordinator

## 英語の教材

本校は、ELT(英語教育)の教材会社(株)ネリーズグループがLEAPの放課後プログラムに教材を寄付して下さった事を感謝したいと思います。



いただいた教材には、物語の本、教育的なおもちゃ、先生の教材、そして沢山の第二言語として英語を学ぶ子供たちのためにデザインされた教材が含まれていました。これらの教材は、LEAPにふさわしいものです。

ネリーズのオフィスは、台東区の浅草橋駅近くにあり、様々な年齢の英語学習者にふさわしい教材を豊富に取り揃えているネリーズの英語の本屋もあります。本屋は平日、朝の10時から夕方6時まで、営業しています。



ネリーズに関する詳しい情報や購入できる教材に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.nellies.jp>

## G4A人形劇

G4Aは、「世界はどう機能しているのか」という探究の単元にて、本当に「手を使って」実験を行っています。

私たちは主に科学者がどのように探究したい理論を持つのかについて考えています。科学者は何が起きるか仮説を立て、厳密な手順に従って自分が考えた事が正しいか間違っているかを確認めます。クラスや家で、生徒は磁石や重力、光、電気に関する様々な実験を行いました。



クラスで光の特質についての調査を発表する事にしました。そして、「フクロウと猫」という有名な子ども向けの詩を影絵で上映することにしました。

仮説を立てたときは、影絵用の人形を作って、そのあとに影絵を行う舞台を作るのが簡単なやり方だと思っていました。しかしながら、作業を進めていく中で、光の当て方、ふさわしいサイズ、人形の位置、そして人形のスムーズな動き方まで様々な問題に直面しました。最終的な変更や改善を行うまで、様々な異なる方法を試しました。



私たちが予測した仮説より、確実に単純なプロセスではありませんでした。最終的に成功したのは、沢山の意見を言ったり、聞いたりしながらアイデアを共有したからだと思っています。私たちの最初の「フクロウと猫」の公演は、火曜日の朝、K3を観客として行われました。最終リハーサルの写真もご覧ください。

**Val Gray**  
G4A Teacher



## G5キャンプ



**1日目**  
By Sara (G5A)

10月13日に、G5は長野県のノーススターキャンプ場へ行きました。到着するには5時間かかりました。到着して、準備ができてから、最初にscavenger huntをやりました。Yellow Northern Stars、Red Stars、Green Clovers、Ocean Blue、Purple Penguins、Orange Sparksの6つのチームに分かれて行きました。先生からもらったヒントに従って、物を探しました。例えば「私は、日本で最も人気のあるスポーツの一つにおいて使われる道具である」などというヒントに従って、野球のバットやボールを見つけました。残念ながら、物によっては上手に隠されていて見つけることができませんでした。Mr Farquharごめんなさい！すべての物に文字がついていました。よって最後にこれらの文字をすべてつなげて、チームワークに関する文を作らなければいけません。私のグループの文は「一人ひとり小さな滴だけれども、皆が集まれば海になる」でした。

その日の夕方、ノーススターのキャンプ場のスタッフがご飯を作ってくださいました。メニューは、お肉、サラダ、パン、ポテトチップス、そしてデザートにオートミールビスケットでした。料理はすべておいしく、沢山の人がおかわりもしました！

寝る前に、キャンプファイヤーをしました(Aki先生は親切にも男の子を一人、歯医者へ連れていったので、参加できませんでした)。私たち

が到着する時には、キャンプファイヤーの準備は整っていました。はじめに、Ms Homerlein、Mrs Astrop、Mr Farquharがマシュマロをローストしてsmoreを作ってくれました。みんなで1つずつ食べました。そのあと、5Bが練習した歌を歌いました。素晴らしい歌を歌った後に、5BはMr FarquharとMr Yoshiharaと一緒に部屋に戻りましたが、5Aは残って学校が始まった日にネガティブな事を書いた紙を燃やしました。



**2日目**  
By Ricky (G5A)

翌日、朝食を食べた後に、男の子は宿泊していたRaicho Innから、ノーススターロッジへ朝のチーム作りの活動をするために向かいました。この活動はmine field、caterpillar logsとオリエンテーリングの3つでした。すべての活動は協力とコミュニケーションが不可欠なものでした。

この活動が終わった後に、近くのハイキングコースへ荷物を持って移動し、「ぜんごろうの滝」という名前の滝へハイキングをしました。滝はとても大きくて、荘厳で、素晴らしかったです。G5が見た滝の中で、最も大きいものだったかもしれません。健康的な果物をおやつに食べた後(あと、



smoresの残りのチョコレートも一切れ食べました！)、山を下って、女の子たちが泊まっていたキャンプで美味しい食事を食べました。

この日の夜は、キャンプコンサートにて、お互いにスキットを作ったり演じたりして楽しみました。すべてのグループはキャンプに到着してからずっとスキットを練習していました。すべてのグループのスキットが想像力に富み、クリエイティブで、初日のscavenger huntで使用したのも使われていました。見ていてとてもおもしろく、皆がとても楽しい時間を過ごしました。

寝る前にポジティブな事を記録しました。どういことかという、私たちは自分の事を助けてくれた人や、何か良い事をしてくれた人、または何か良い影響を与えてくれたものについてポジティブなことを書きました。そして先生が各生徒の記録を個別の封筒に入れ、金曜日に学校についたときに封筒に入れて相手の子に渡してくれました。他の人が書いてくれたポジティブな記録を読むのは素晴らしいサプライズでした。



## セカンダリースクール: 今年を振り返って

もうじき冬休みがやってきます。生徒たちの頭も、休暇の事でいっぱいです。2010年を振り返る中で、2010-2011年度の最初の四か月を振り返ってみようと思います。

今年度は、8月から、当時は全く新しかったけれども、今は慣れ親しんだ言葉となったMOODLEからスタートしました。次はなんでしょう。WIKIでしょうか。Moodleは、KISTのコミュニティがつながる中で、最初の取り組みにすぎません。

G8が初めて秩父へのキャンプを決定し、もちろん以前からの伝統となっているG6の日光への宿泊学習も行われました。生徒達は、このキャンプがどんなに楽しかったか、そしてどんなに教育的なもの(これは私の言葉ですが…)であったかをずっと話していました。そして、G10、G9、G7のたくさんの生徒たちが、「私たちのキャンプは？」と聞いてきました。(来年かもしれないですね！)

そして、忘れてはならないのが、クラブです。23個の異なるクラブが、月曜日、水曜日、金曜日に行われています。生徒たちは沢山のクラブの中からやりたいものを選ぶことができました。2学期もぜひ、沢山の生徒が参

加する事を願っています。詳しくは、またメールでご連絡いたします。

また、KISTのセカンダリースクールは、今学期、インターナショナルスクールの交流に多く参加しました。KISTは2度目の開催となる年1回のミドルスクールドラマフェスティバルの開催校となり、6つの異なるインターナショナルスクールが、本校にて、お互いに演技を披露しました。また、長い伝統の通り、KISTは12校のインターナショナルスクールが参加するクロスカントリーの試合の開催校となりました。他にも、地域のインターナショナルスクールと対抗してバレーボールの試合をしたり、ハイスクールドラマフェスティバルにも参加しました。そして、KISTにて12月11日模擬国連が行われる事も忘れてはなりません。

これからも引き続き、地域のインターナショナルスクールの生徒に出会ったり、競いあったりする行事が開催される予定です。

次に、保護者の方々とのコミュニケーションをする機会が増えた事も特

記すべき点です。Moodleやメール、新しい中間成績表、保護者会、クラスペアレントの会議を使用して、沢山のコミュニケーションが行われていました。来学期も引き続きコミュニケーションの充実をはかっていこうと考えています。12月8日の午後6時から、「Mr. Schneiderとのお茶会」が行われます。どなたでも歓迎いたしますので、ぜひご参加ください。

今回、保護者の方からのご意見、遠足、KISTival、各クラスで行われる素晴らしい学習の機会については言及する事ができませんでしたが、今学期、沢山の素晴らしいことがありました。そして、来学期はもっと最高の学期になる事でしょう。

**Robin Schneider**  
Secondary School Principal

### セカンダリースクール: 今後の予定

**"Coffee with Mr Schneider"**  
**(Mr Schneiderとのお茶会)**

日付: 12月8日(水) | 時間: 6:00 p.m.

場所: 多目的室

**"Grade 10 IB DP 2011-2013 Information Evening"**  
**(G10 IB ディプロマプログラム 説明会)**

日付: 12月15日(水) | 時間: 7:00 p.m.

場所: 多目的室

## オフィスからのお知らせ

### 退校手続きについて

冬休み前に退校を考えていらっしゃるご家庭は、なるべく早くオフィスに退校届(Student Withdrawal Form)を提出してください。この書類は、本校のウェブサイトContacts >> Formsにアクセスすれば入手できます。またこれと関連して、何か特別な書類(e.g. 在学証明書、推薦状など)が必要な場合は、書類請求書(Request for Documentation Form)にて事前にお申込みください。文書は準備に1週間程度かかります。また、推薦書は2週間程度かかる事もあります。文書の請求は、直接先生にするのではなく、オフィスにするようお願いいたします。

### 2011-2012年度の出願

KISTにご兄弟を入学させたいと考えていらっしゃる方に確認となりますが、2011年の4月または8月入学の出願締切は12月17日(金)です。入学を考えていらっしゃるお知り合いの方にも、ぜひお知らせください。

## K.英語イマージョンプログラム

★★★ 特別なご連絡 ★★★

2011年8月より、新たに幼児向け英語イマージョンプログラムを開始します。このプログラムは、英語が全く、または、ほとんどできないお子さんが対象です。

K英語イマージョンプログラムは、もうひとつの幼稚園プログラムで、お子さんが不安を感じることなく英語の全ての能力の向上に強く焦点を置いた、英語を学ぶ機会を提供します。このプログラムは、KISTに自信を持って入学し、カリキュラムを学び成功するための準備を目的としています。

近々保護者向けの説明会が開かれる予定です。詳細は別途お知らせいたします。



## ミドルスクールドラマ フェスティバル

11月3日(水)に、沢山のインターナショナルスクールが参加するミドルスクールドラマフェスティバルが行われました。まずは、他校の生徒と体育館で円になって座って顔を合わせることからその日の朝は始まりました。そのあと、その日初めて出会った他校の生徒と共に新しいグループに分けられました。この日のためにわざわざ力を注ぎ、時間をさいてくださったワークショップのリーダーたちがそれぞれのグループを別々の教室に連れていきました。ここで、まずはお互いの緊張を解き、信頼関係を作り、チームを作るゲームや活動をし、リーダーが各チームのテーマを発表しました。

各テーマは、有名なおとぎ話や伝説をモチーフにしたものでしたが、この日の朝に無作為に割り当てられたので、リーダーも生徒もどれにあたるか分かりませんでした。

部屋についてから落ち着いた後、お互いに自己紹介をしました。そしてその後、リーダーが自分たちのテーマか物語を読んでくれました。その後、課題は物語を変えて、もっと現代的に、そして面白く、創造的なものにする事であると言ってくれました。グループとして、最初にアイデアをブレインストーミングし、何が私たちの話に組み入れる事ができるか決めました。

話を改訂するのはとても楽しかったですが、少し難しくもありました。私たちは皆、沢山のアイデアを持っていましたから、聞いているのはとても楽しかったですが、どれを使ってどれを使わないか選ぶのは難しい作業でした。この後で、短いお昼休みを取り、再び作業に戻って劇の練習を開始しました。

2時間の練習の後、発表する準備が整ったので、体育館に集まりました。沢山の創造的で面白いアイデアを見ることができたので、この時間は間違いなく1日のうちで目玉となる時間でした。劇のタイトルは"Little Red", "Ginger Bread", "The Shoemaker", "Three Little Pigs", "Oh, the Places You'll Go", "Goldilocks and the Three Biebers"で、沢山の才能や多様性が発表されました。モダンダンスやミュージカル仕立てのものから、真面目な劇まで、見ているのも、演じるのも、とても楽しかったです。

東京にある他のインターナショナルスクールから来た生徒や先生と活動する機会はとても有意義なもので、ぜひ来年、G6からG8までの生徒が参加されることをお勧めいたします。最後になりましたが、Ms Cussenを含むリーダー達、またこのイベントを企画してくださったMr RentouleとMr Marsonに感謝したいと思います。

Mihir and Joohee (G7A)



## 言語に関するイベント

### 英語のイベント

保護者の皆さま、12月17日(金)に午後2時30分から体育館で行われる発表会にどうぞお越しください。The English Event(英語のイベント)は、セカンダリーの生徒にとってとてもユニークなパフォーマンスをする機会です。パフォーマンスは、MYPやDPIにおける英語の探究の単元と何等かの形で関わっています。パフォーマンスの例をいくつかあげますと、劇、詩の朗読、熱のこもったスピーチ、おもしろいプレゼンテーション、編集したビデオなどです。できるだけ沢山の保護者の方に発表を見ていただければと思います。

### 母語サポートの機会

母語の発達には、考えるプロセスを提供し、他の言語を学ぶときの基礎となり、また自分自身や他者についての理解を深めるためにも不可欠です。私たちは言語は様々なコミュニティーと私たちを結ぶ力強い道具と考えています。以下に、KISTでの母語サポートを充実させるため、お手伝いしていただきたい事を確認しておきます。保護者として3つの方法でお手伝いをしていただく事ができます。

- **母語のチューターになる**: 学校で、例えばゲームや物語を通して小グループの生徒たちに言語を教える
- **言語の教材を共有する**: KISTに在籍するご家庭に役立つような母語の教材があればご紹介ください。
- **母語の本を寄付する**: 図書館に各母語の本のセクションがありますので、ここを皆さんの力で充実させていこうと思います。(アマゾンで注文して学校へ送っていただいても構いません)

学校コミュニティとして、すべての生徒の言語を充実させていくことができるよう、皆さんからのご支援をお待ちしております。ご協力に感謝いたします。

**Damian Rentoule**  
Deputy Head of School/Curriculum Director  
[d\\_rentoule@kist.ed.jp](mailto:d_rentoule@kist.ed.jp)

## 発明: 楽しいインターンシップとプレゼンテーション

私は、IBディプロマプログラムの1年目と2年目の間の夏休みを有意義に過ごしたいと考えていました。私は新しい事に取り組むのが好きで、大学ではバイオエンジニアリングを勉強したいと考えているので、その二つに関連する夏のインターンを探していました。しかし、日本の大学や会社は16歳を対象としたインターンはありませんでした。理由は理解できましたが、諦めずに聞き続け、自分に参加する能力がある事を伝え続けました。そして、慶應義塾大学大学院のメディアデザイン研究科にて3週間のインターンシップを実現することができました。

この研究科は、iPhoneのロボットやJames Bondの映画で使われた、透明人間マントなどを発明した場所でした。この研究科にて、私は博士課程の学生グループ(皆私より6歳も年上です!)に加わり、「観念化」の作業に参加しました。最初はばかげた事だと思ふようなどんなアイデアでも、慶應のメディアデザイン科では実現できるので、私は視野を広げ、想像することを学びました。

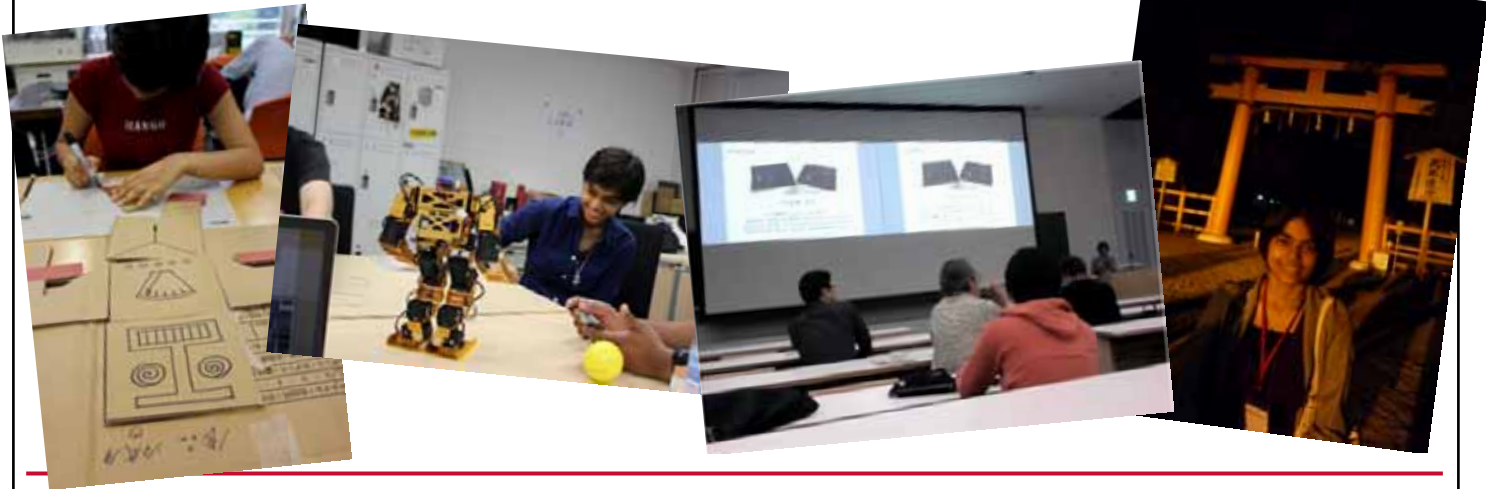
"Robox"(ロボットであり、箱である物)の段ボールで作った模型を作った後に、私達のグループは電子レンジにかける事のできるデザインについての新しいアイデアの研究を始めました。電子レンジに物を入れると、このデザインは文字通り光りました(そして何度かプラズマになってもう少しで電子レンジを爆発させるところでした)。私はこのおもしろい発明を"Phoenix-letters"と名付けさせてもらえました。また、このテーマについてリサーチペーパーを書き、京都で行われ

たEntertainment Computing 2010という名の学会で発表しました。

学会で、私は唯一の高校生であり、唯一日本人ではありませんでした。聴衆は教授や大学院生ばかりだったので、Phoenix-lettersについて20分間説明した後、何が起きるかわかりませんでした。もしかしたら教授たちに批判されるかもしれない!と思いました。嬉しい事に、聴衆はとても受容的で、私の研究について興味を持っていただき、聴衆と2言語を使用してディスカッションをする事ができました。さらに、Phoenix-lettersについて将来応用できるかもしれない事について考えを駆り立てられるようなご意見をいただく事もできました。私たちのグループが、将来期待のできる研究を行ったとして、"Next Generation"賞を受賞したときの驚きと言ったら、想像してみてください。この賞は投票で決定されたものでしたので、手ごわい聴衆から支持を得る事ができたという事は、私を大いに励ましました。年齢で制限されるなんて事があってはなりません。

京都の学会の中で、私は沢山の素晴らしい方々と出会い、間違いなく大きな学習の経験を積むことができました。グループで行うリサーチはとても楽しく、自分独自のアイデアを発表することはワクワクする事です。私はこの素晴らしい経験をとても価値のあるものだと思いますし、皆さんも自分の熱意を、決意を持って追うことをおすすめしたいと思います。

Shreya (G12)



## ホームワーククラブ/チュータークラブ

ホームワーククラブ/チュータークラブは、セカンダリーの生徒(G9からG12)が、エレメンタリースクールの生徒の宿題を手伝う場です。エレメンタリーの生徒は、チューターになる上の学年の生徒を割り当てられます。そして、決まった曜日(月・水・金)にクラブに来るのです。毎週、同じチューターに宿題を見てもらいます。

毎週、生徒は宿題、または学年ごとに私達が用意したワークシートに取り組みます。これは、お互いから学ぶ事があるので生徒にとっても、チューターにとっても喜ばしいことです。ホームワーククラブ/チュータークラブに入りたいと思ったら、まだこれからも入ることができます。2学期からもぜひご参加ください。

皆さんに毎週お会いし、毎回新しい事を学ぶのを楽しみにしています!

Yeon Soo (G10B) and Hanako (G10A)  
Tutoring Club Student Supervisors



## スタッフ10!..

今月のスタッフ10!では、2009年にPYPとMYPの美術の先生としてKISTに加わったJuliet Collier先生をご紹介します。



Ms Collier はKISTival 2010で新しい髪形を披露してくださいました。

### ● 故郷についておもしろいことを教えてください。

私の実家は田舎で、しかも一番近い街は山のふもとの海のそばにありました。『ラストサムライ』が撮影された場所です。

### ● 世界で1番好きな場所はどこですか。

山々や湖を眺めることのできる、両親の農場にある丘です。

### ● 機会があったら誰に会ってみたいですか。またそれはなぜですか。

アンドレ・アガシです。テニスの試合を挑みたいと思います。

### ● 何か特別な能力や才能はありますか。

羊を描くことです。

### ● 自分についてあまり知られていないことを教えてください。

3人しか生徒のいない小学校に行っていました。

### ● 宝物は何ですか。

友人や家族、旅行の写真と思い出です。

### ● 自分を表す言葉を教えてください。

求められる学習者像を見て、生徒に答えを聞いてみようかと思えます。

### ● もう1度人生をやり直せるとしたら何をしますか。

最後は万事うまくいくはずなので、やり直したくないです。

### ● 今現在、何か学んでいることや上達させようとしていることはありますか。

日本語、墨絵、アクセサリー作りを学ぼうとしています。(これらの事を勧めてくれて方、ありがとう!)

### ● ファンに一言おねがいます。

ピカソからの引用を紹介します。

「子どもは皆、芸術家です。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかです。」

## 地域からのお知らせ

時々、本校は東京にある様々な団体から、行事やサービスのお知らせを受け取ります。今月は、以下の2つのグループからのお知らせを受け取りました。これらの団体はKISTとは全く関係がなく、興味がある方へ情報をお伝えしているだけだという事をご留意ください。

### 東京 Stay-at-Home-Dads 育休を取るお父さんの会

このグループの目的は、子育てのために仕事から離れることを決めた父親のためにコミュニティを作ることです。このグループが何をするかはグループで決めていきます。



- (1) 将来ある時点で職場復帰しようと決意するかもしれない聡明な専門家のためのネットワークを作ること
- (2) ハビタット・フォー・ヒューマニティなど、慈善団体をサポートする
- (3) 日中、お茶をしたり、サッカーをしたり、夜、少し飲みに行ったりする
- (4) どこにお金を投資すべきか、どうやったら上手にテレビ台を自分で作ってお金を節約するか、どうやって美味しい夕飯を作るかなど、知識を分け合う

以上の事に興味があったり、何か行いたい事についてアイデアがあったり、どうやったらこの会が成功するかお考えがありましたら、あなたはこの会にふさわしい人物です。

<http://www.meetup.com/Tokyo-Stay-at-Home-Dads>

## 2011-2012年度カレンダー

ご家庭の皆様が海外旅行を計画する際、参考にしていただけるよう、2011-2012年度の重要なスケジュールをお知らせします。早い段階でお知らせしておく事により、休暇明けにきちんと日本に戻って登校することができるようにしていただければと思います。完全なカレンダーは、今年度の終わりに配布いたします。

8月29日: 学校初日

10月15日: KISTival 2011

10月16-23日: 秋休み

12月17日-1月8日: 冬休み

3月24日-4月1日: 春休み

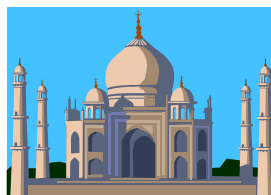
5月3-6日: ゴールデンウィーク

6月21日: 学校最終日



### インド大使館より

インド大使館(東京)にあるインドカルチャーセンターは2011年1月~6月までのクラスの登録を始めました。



ヨガ、インドのコンテンポラリーダンス(ポリウッド)、タブラ、歌(インドのクラシック)、Bharatanatyam舞踊、Odissi舞踊、Sambhalpuri民謡、ヒンズー語、ベンガル語

登録の締切は2010年12月16日です。

詳しいことは、インド大使館(東京)にお問い合わせください。

<http://www.embassyofindiajapan.org>

## G6日光宿泊学習...

11月10日に、G6は2泊3日を山の大自然の中で過ごす日光への旅に出発しました。不安な顔をしながら、何が起こるのかあまり予想もつかずに、電車に乗り込みました。ギリギリ、最後の生徒も間に合い、電車は出発しました。

1日目に、生徒たちは陶芸を行って自分の芸術的な能力を試しました。午後には、あるグループは徳川家康が祀られていて、見猿、聞か猿、言わ猿の3匹の猿がいる東照宮へ向かいました。全部で207段と、階段が長かったにも関わらず、生徒たちは元気に旅を終えることができました。一方で先生方の中はこの挑戦に苦戦している方もいました。生徒も先生も、目的地にたどり着くことができとても嬉しかったです。目的地にあった宿はなんて素敵だった事でしょう！ビュッフェの食事、高級なお部屋、貸切の温泉、疲れた1日の後には、最高な場所でした。



夜行性だった人をのぞいて、ほとんどの生徒が良い睡眠をとり、ビュッフェの朝ごはんを食べ、リスクを負う人となって自然の中をハイキングしまし



た。ハイキングの最中は、木の皮を噛んだり、ベリーやナッツを味見したり、湧水を飲んだり、そして動物の糞を解体したり臭いをかいだりしました。これは忘れられない体験です。この日の目玉は、日本の三本指に入る滝であり、日光にある48の滝の1つである華厳の滝でした。他にも、写真を撮り、お土産を少し買ったり、温泉に入ったり、美味しいごはんを食べたりしました。夜には、アカデミック・イブニングでクイズ大会があり、ぐっすり眠りました。夜行性の子ども達もあつという間に寝てしまいました。

翌日は朝早く起きて、予定表にある通り、荷造りと掃除を行いました。男



の子の部屋の一つは、とても大変そうでした。最後に宿を出て、私達の最後のアクティビティは江戸村でした。ここで子ども達は友達と歩き回ったり、残ったお金を使うべくお土産屋さんをまわったり、お昼ごはんはどこで何を食べるか考えたり、迷路で迷子になったり、お化け屋敷でおびえたり、忍者ショーを見たりしていました。

ほとんどの子ども達にとって、東京へ向かう電車の出発時間は早くおとずれすぎたように思えたでしょう。素晴らしい思い出と、新しい友情、新しい経験を持って、最後に駅の足湯につかってから、東京へ戻る電車に乗りました。2時間電車に揺られた後、出発した場所に戻り、両親や家族のもとへ帰宅しました。

## 新しいスタッフ

スタッフの仲間になんか加わったJamie KenyonとAnna Findlayです。JamieとAnnaには、新しい環境でも頑張ってもらいたいと思います。



**Jamie Kenyon**は、バイリンガルサポートスタッフとして事務局の一員に加わりました。Jamieは主に翻訳や通訳、電話の対応、そしてオフィス全般のサポートをします。アフタースクールにあるLEAPプログラムのインストラクターとしても務めます。

Jamieからのメッセージ。「こんにちは、イギリスから来ました、JamesまたはJamieです。私はあらゆる面で言語が大好きで、リバープールと金沢大学で、英語と日本語を専攻し学んできました。Kインターナショナルスクールに関わる全ての皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思います。Cheers!」



**Anna Findlay**は、ライブラリーアシスタントとして、主にJunior Libraryで働きます。Annaは、ECEやElementary Schoolの生徒とスタッフのライブラリーでのお手伝いをします。必要に応じてメインライブラリーでのお手伝いもします。

Annaからのメッセージ。「こんにちは、Annaと申します。ニュージーランドにある、ウエリントンから来ました。KISTコミュニティの皆さんや、Elementary Schoolの生徒とスタッフの皆さんに出会えてうれしく思います。新しい職場で、生徒たちに本の楽しさを伝えたり、本を通して生徒たちの勉強のサポートしたりしていきたいです。」

# クロスカントリー・フィーバー

11月5日(金)、毎年恒例となったKIST Inter-House Cross Countryが大島小松川公園で行われました。その日は、晴天という行事に相応しい天気でした。参加したGrade 2からGrade 12の生徒たち全員は、それぞれのコースを見事に走り切りました。優勝した北海道チーム(グリーンチーム)を始め、大活躍した全てのチームへ、素晴らしく戦い、走り切ったことを祝します。そして、イベントに来て頂き、サポートし生徒達と楽しんで頂いた保護者の皆さんに深く感謝申し上げます。又、イベントの成功のため、時間を捧げ、応援してくれた先生たちに感謝します。

このイベントで、各学年でトップ3になった生徒たちは11月19日(金)に、同じく大島小松川公園で行われた年一度の行事でKIST主権の、ISTAA Inter-School Cross Country Championshipsに参加しました。

## KIST Inter-House Cross Country

**Grade 2 Boys:**  
Hee Sung (G2A)  
Samuel (G2A)  
Deniz (G2B)

**Grade 2 Girls:**  
Saki (G2B)  
Maki (G2A)  
Hannah (G2B)

**Grade 3 Boys:**  
Oliver (G3B)  
Amane (G3A)  
Salim (G3B)

**Grade 3 Girls:**  
Sara (G3B)  
Emily (G3A)  
Minori (G3B)

**Grade 4 Boys:**  
Keina (G4A)  
Keigo (G4B)  
Yusuke (G4A)

**Grade 4 Girls:**  
Hina (G4A)  
Mifuyu (G4B)  
Eleonore (G4B)

**Grade 5 Boys:**  
Hiroshi (G5B)  
Keijiro (G5A)  
Kiyoshi (G5A)

**Grade 5 Girls:**  
Seina (G5B)  
Seo Yeon (G5B)  
Riko (G5A)

**Grade 6 Boys:**  
Haruto (G6B)  
Shouta (G6A)  
Masaru (G6A)

**Grade 6 Girls:**  
Lin (G6B)  
Kotone (G6B)  
Moana (G6A)

**Grade 7 Boys:**  
Tyson (G7A)  
Makoto (G7B)  
Kai (G7A)

**Grade 7 Girls:**  
Koharu (G7B)  
Tabasa (G7B)  
Nino (G7A)

**Grade 8 Boys:**  
Salam (G8B)  
Taymur (G8A)  
Maung Wai (G8B)

**Grade 8 Girls:**  
Keerti (G8A)  
Erika (G8A)  
Rino (G8A)

**Grade 9 Boys:**  
Roland (G9B)  
Adam (G9B)  
Tae Yeon (G9B)

**Grade 9 Girls:**  
Himeka (G9B)  
Moyu (G9B)  
Misato (G9B)

**Grade 10 Boys:**  
Shimon (G10B)  
Joe (G10B)  
Abeer (G10B)

**Grade 10 Girls:**  
Shifa (G10B)  
Monica (G10B)  
Fenella (G10B)

**Grade 11/12 Boys:**  
Eric (G11)  
Ryosuke (G11)  
Maung Pyay (G12)

**Grade 11/12 Girls:**  
Ewa (G11)  
Sung Hye (G11)  
Na Yeong (G11)

今年は、都内や横浜エリアから11校の生徒たちに来て頂き、参加してくれました。その日KISTの生徒たちはそれぞれの力を発揮し、たくさんの生徒たちがメダルをもらいました。全学年を通し、生徒たちは優勝トロフィーの獲得したり、上位をおさめたりしました。そしてこの日も、イベントをサポートしてくれた先生たちに感謝気持ちでいっぱいです。そして、素晴らしく戦った生徒たち皆さん、おめでとうございます。

**Will Spring**  
Sports/PE Coordinator



## ISTAA Inter-School Cross Country

**Grade 1:**  
**Boys**  
Gold: Kaiser (G1A)  
Silver: Kishore (G1B)  
**Girls**  
Silver: Rina (G1A)

**Grade 8:**  
**Boys**  
Gold: Salam (G8B)

**Grade 2:**  
**Boys**  
Gold: Hee Sung (G2A)  
**Girls**  
Gold: Saki (G2B)  
Silver: Hannah (G2B)  
Bronze: Maki (G2A)

**Grade 9:**  
**Boys**  
Gold: Adam (G9B)  
**Girls**  
Silver: Himeka (G9B)

**Grade 3:**  
**Girls**  
Bronze: Sara (G3A)

**Grade 10:**  
**Boys**  
Silver: Shimon (G10B)  
Bronze: Joe (G10B)  
**Girls**  
Gold: Shifa (G10B)  
Silver: Monica (G10B)  
Bronze: Fenella (G10B)

**Grade 4:**  
**Girls**  
Gold: Hina (G4A)

**Grade 11:**  
**Girls**  
Bronze: Ewa

**Grade 7:**  
**Boys**  
Silver: Tyson (G7A)  
**Girls**  
Bronze: Koharu (G7B)

**Grade 12:**  
**Boys**  
Silver: Maung Pyay  
Bronze: Keito



Totals	Lower (G1, 2, 3)		Middle (G4, 5, 6)		Upper (G7, 8, 9, 10)					
<b>KIST</b>	930	1	<b>KIST</b>	360	1	YIS	370	1	<b>KIST</b>	460
BST	680	2	MST	250	2	BST	310	2	BST	300
YIS	790	3	YIS	150	3	<b>KIST</b>	110	3	YIS	270

BST=The British School in Tokyo / YIS=Yokohama International School / MST=The Montessori School of Tokyo

## Save the Words

### Are you up for the Word Challenge?

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

下のウェブサイトの **Save the Words** をチェックしましょう。



<http://www.savethewords.org/>

#### DOWN

3. prickly or thorny  
8. figurative expression

#### ACROSS

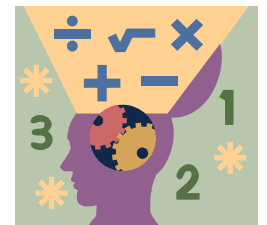
6. to become less good, to deteriorate  
10. filled with weeds or reeds

答えがわかった人は、IBオフィスの私まで会いにきてください！もしくは私にEメールしてください。 [pyp\\_co@kist.ed.jp](mailto:pyp_co@kist.ed.jp)

**Emma Homerlein**  
PYP Coordinator

## MYP and DP Mathematics

以下の表は、MYPとDPの数学プログラムに関して、多くの学校で勘違いされて受け止められていることをまとめたものです。この記事の目的は、2つの数学プログラムがどのように作られているかを知っていただき、理解を深めていただく事です。



### Mathematics: The MYP-DP continuumより引用

誤解	現実
MYP数学とDP数学には、ほとんどつながりがない。	MYPとDPの数学コースには重要なつながりがあります。MYP数学の概要は、DPで必要となる前提知識に含まれる事やそれ以上の事をカバーしています。2つのコースの目的は強く結びついているとともに重なっています。
MYP数学は、DP数学のための準備は行わない。	MYPの理念によれば、学校は生徒のニーズに応じて独自の数学カリキュラムを作ることができます。よって学校はMYP数学の枠の中で、DPの前提知識を意識的に盛り込むプランを立てる必要があります。加えて、MYP数学の評価基準は、DPIにおける学内評価、学外評価の両方に移行することができるレベルの能力や厳しさを求めます。
MYP数学はすべての生徒にふさわしいものではない。	MYP数学のカリキュラム内容は、MYP実施校が決定します。ですから各学校が、その生徒にふさわしいものを決定することになります。MYP数学の概要に挙げられている概念や能力は、MYP数学からDP数学への移行を容易にする事を推奨し、数学を2つのレベルで学習することを可能にします。
MYP数学は厳しくない。	学校は独自のカリキュラムを開発し、広範なMYPの概念とスキルの中から、適切な部分を使用するなど、その基準を用いて厳しさのレベルを決めます。その開発されたカリキュラムはDPのコースで求められるレベルに見合うか、それを超えるものでなくてはなりません。学校はMYP数学のテストや試験の頻度、難易度を決定することができ、学校は校内で評価される学習が世界の基準のなかでモデレーションを受ける事を選択することもできます。
DP数学のコースは、実生活に関係のある数学は扱わない。	DPIは、そのねらいや目的の中で決定されているように、数学を場所や時、つまり状況と関連させて教えるように定めています。
MYP数学において評価はない。	MYP数学には、外部のモデレーションをリクエストする可能性を持った、継続的な校内評価があります。モデレーションのために、規定された最低限の課題が提出され、そのなかにはDPと共通するような要素もあります。

#### 参考文献

International Baccalaureate. (n.d.). *Mathematics: The MYP-DP continuum*. Retrieved November 18, 2010, from Online Curriculum Centre: [http://xmltwo.ibo.org/publications/MYP/m\\_5\\_mathm\\_mdcdoc\\_1011\\_1/html/production-app3.ibo.org/publication/249/part/1/chapter/1.html](http://xmltwo.ibo.org/publications/MYP/m_5_mathm_mdcdoc_1011_1/html/production-app3.ibo.org/publication/249/part/1/chapter/1.html)



## ハンナのかばん

11月2日、石岡史子さんがHana Bradyという女の子のお話をしにKISTへ来てくれました。お話の中では、史子さんがどのようにHanaのことをリサーチしたかも話してくれました。

史子さんは第二次世界大戦を現代の子供たちにわかりやすく伝えるため、戦時に関連するものを探していました。ある博物館で見つけた一つのかばんが、史子さんがHanaという女の子のことをリサーチするきっかけとなりました。けれども史子さんは始め、リサーチの情報を集めることに苦労されました。博物館へ連絡したものの、なかなかHanaの情報を集めることができませんでした。

そして、Hanaが書いたと言われる4つの絵を見つけることができました。さらには、Hanaの兄、Georgeを探そうとでき、連絡をとることができました。Georgeは、Hanaの写真や、Hanaがどういう女の子だったのかなどを史子さんに話しました。たくさんの情報を集め、史子さんはSmall Wingsの皆さん(史子さんと一緒にリサーチしてきた生徒たち)と一緒にHanaの展示会を開きました。

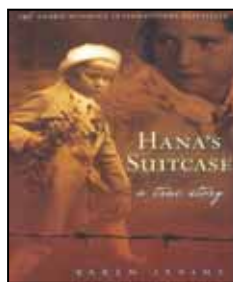


史子さんは生徒たちに、どのようにリサーチしたか、どこに行ったか、発見したものの、Hanaの新しいことを見つけたときの気持ちや、Small Wingsのことなどを話してくれました。そして今、史子さんはHanaのかばんを持ちながら、たくさんの人たちにHanaの話を伝えるためいろいろな所へ旅をしています。

Hana Bradyは、戦時中に生きた女の子です。Hanaは、商店を営んでいる優しい両親と、仲のいいお兄さんGeorgeと幸せに暮らしていました。しかし、Adolf Hitlerを始めナチス党により、戦争が引き起こりました。Adolf Hitlerはユダヤ人

を嫌い、様々なものを制限し、禁止しました。ユダヤ人は学校を含め、公共の場に出ることを禁止されました。そして、強制収容所に送られ、たくさんのユダヤ人が亡くなり、Brad familyも例外ではありませんでした。

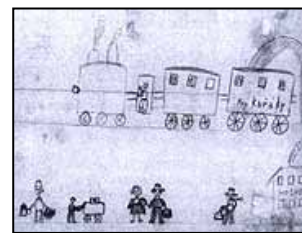
Hanaは、2年間収容所で苦しみに耐え、そこで亡くなりました。彼女の死後間もなく戦争は終わり、Brady家ではGeorgeひとりが生き残ったのです。



史子さんのお話から、私は人権について学び、いかに人権を尊重しなければならないかを学びました。みんな同じ人間であり、平等に扱われるべきだと私は思い、そうしなければ、たくさんの方が苦しむと思います。史子さんのお話を聞き、戦争や、戦争で亡くなった人々についてクラスみんなで改めて考えさせられました。

兄Georgeによると、Hanaの夢は先生になることでした。クラスのみみんなもHanaの話を通し、何か学び、Hanaが私たちに何を伝えたかったかを考え、理解したことを願います。

Chae Youn (G8B)



One of Hana's drawings

## インフルエンザの季節

毎年冬になると、インフルエンザのような様々な病気が流行ります。この時期は特に、ご家庭の皆さん全員で気を付けて頂けるようにお願いします。

インフルエンザは、突然変異を起こす可能性のある耐寒性ウイルスが原因です。このウイルスは一般の風邪と同じように、鼻や口から入りますが、インフルエンザウイルスの場合は高熱をだしたり、脳や肺に影響を及ぼしたりする危険があります。ウイルスは、鼻水など直接的に、また、感染した人が触った物に触れることで間接的に広がるケースが多くあります。さらに、ウイルスは衣類など柔らかいものには数時間、ドアノブやコップ、カラトリーなど固い物には丸1日残ることがあります。

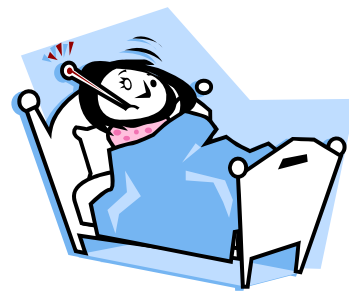
ウイルス感染を防ぐのに一番身近にでき、効果的なのはせっけんを使った手洗いや、定期的なうがいです。うがいができない場合は、水分を定期的にとり、喉の菌を流し、ウイ

ルスを防ぐのにも効果的です。

予防接種もウイルス感染を防ぐのに効果的です。今年の予防接種は、今知られている様々なワクチンに対応できるようにしてあります。ただし、予防接種を受けた後も、ウイルス感染しないという保証できませんので、ご用心ください。

インフルエンザと診断された生徒たちは医者からの許可が出るまで2、3日自宅で安静にして頂きます。又、インフルエンザと診断されたら、学校のオフィスまで直接ご連絡ください。

ご家庭での健康管理にご協力お願い致します。





**Memories of  
KISTival 2010**